

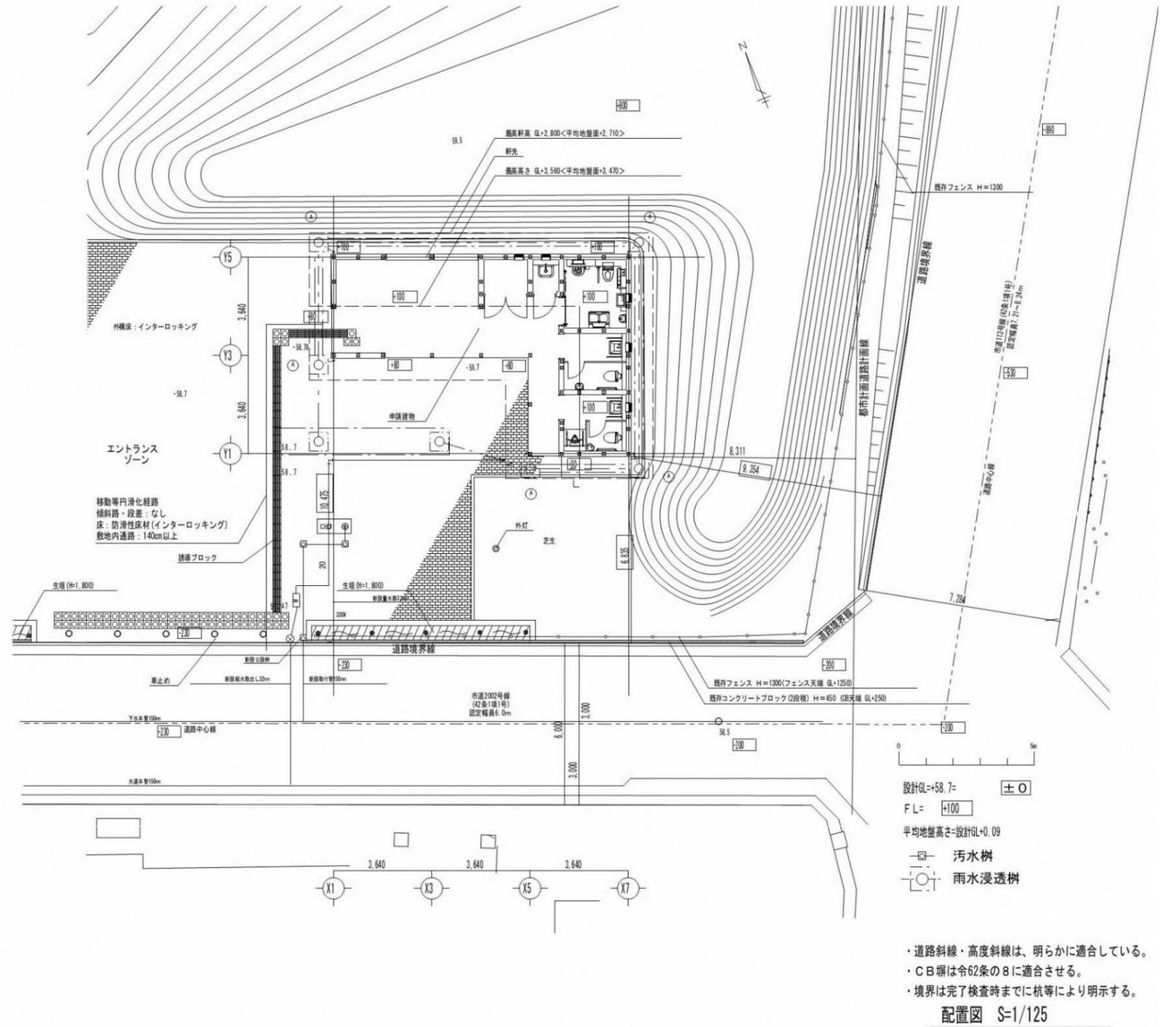
下野谷遺跡トイレ棟建築及び外構整備工事について

1. トイレ棟及び外構開放日

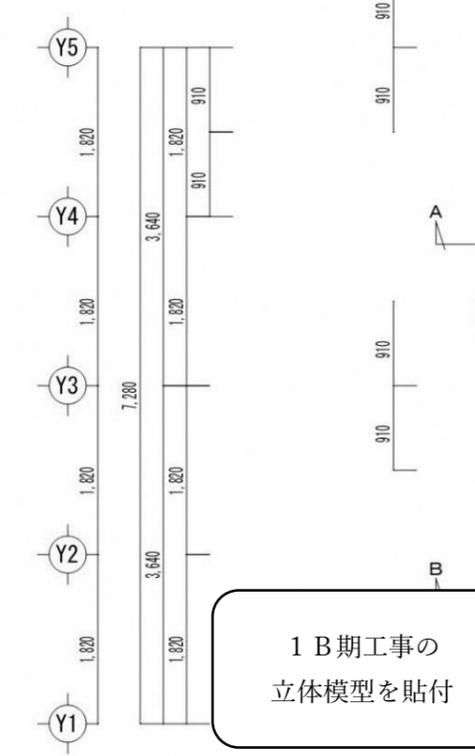
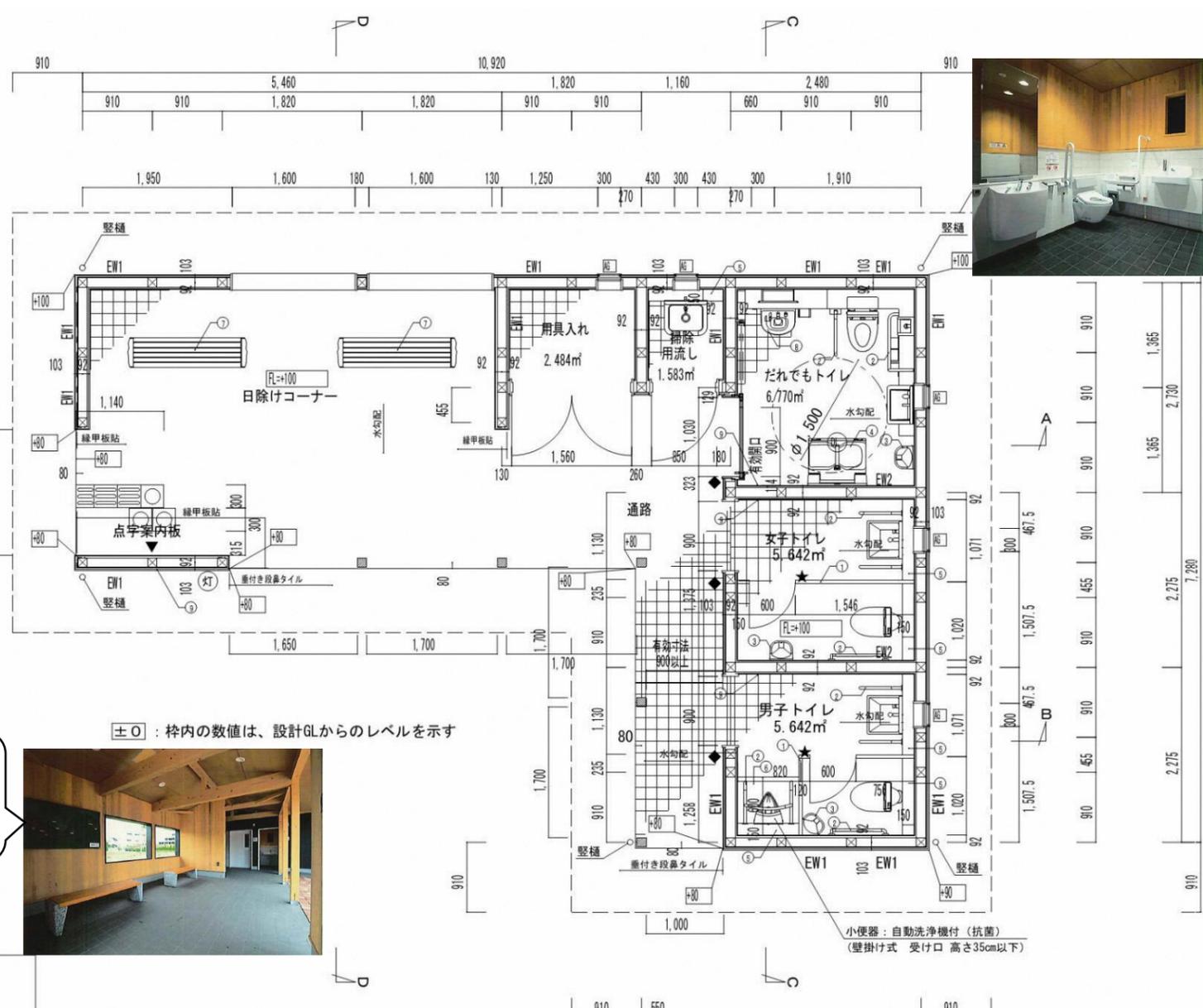
令和4年4月11日※

※建築確認通知未達等のため開放遅延

2. 工事竣工図



・道路斜線・高度斜線は、明らかに適合している。
・C B 塀は令62条の8に適合させる。
・境界は完了検査時までには杭等により明示する。



±0 : 枠内の数値は、設計GLからのレベルを示す



建物外周長
 $10.92 + 3.64 + 7.28 + 3.64 + 3.64 + 7.28 = 36.4\text{m}$
平均地盤高さの算定
 $(\text{㉑}) + (\text{㉒}) + (\text{㉓}) + (\text{㉔}) + (\text{㉕}) + (\text{㉖}) / \text{建物外周長} = \text{平均地盤高さ}$
 $(\text{㉑}) = 10.92 \times 0.10 = 1.092$ (北側立面図)
 $(\text{㉒}) = 1.82 \times (0.10 + 0.08) / 2 = 0.1638$ (西側立面図)
 $(\text{㉓}) = 1.82 \times 0.08 = 0.1456$ (西側立面図)
 $(\text{㉔}) = 7.28 \times 0.08 = 0.5824$ (南側立面図)
 $(\text{㉕}) = 3.64 \times 0.08 = 0.2912$ (西側立面図)
 $(\text{㉖}) = 3.64 \times (0.08 + 0.09) / 2 = 0.3094$ (南側立面図)
 $(\text{㉗}) = 7.28 \times (0.10 + 0.09) / 2 = 0.6916$ (東側立面図)
 $(1.092 + 0.1638 + 0.1456 + 0.5824 + 0.2912 + 0.3094 + 0.6916) / 36.4 = 0.09\text{m}$
 平均地盤高さ = 設計GL + 0.09m

計画建築物は、延焼のおそれのある部分の範囲外

凡例	
	磁器質タイル張 口150 t=13 (B1 無釉) (防滑性床材)
	磁器質タイル張 口150 t=9 (B1 施釉・抗菌) (防滑性床材)
	化粧柱 120x120 WPS塗
	HVLP-ス: 珪酸樹脂化粧板 H=2000
	手摺り: 樹脂被覆タイプ (抗菌)
	ベビーチェア
	ベビーベット
	ライニング: 珪酸樹脂 t=25 W=150
	汚れれ石: D=600 t=13 (B1 無釉・研磨) (抗菌) チェーバー加工
	ベンチ
	オストメイト (抗菌)
	担当課連絡先掲示
	アルミ製ガラリ
	室名サイン: アクリル304 t=1
	トイレブースサイン
	点字ブロック 300×300
	線状ブロック 300×300
	耐力壁 (構造用合板 t=9 片面張り)
	耐力壁 (15×90 たすき掛け筋かい)

